

SPRING 2022

情報メディア創成学類 / 知識情報・図書館学類

目次

大学編

—はじめに	p.2—
—一年間の流れ	p.4—
—新歓について	p.5—
—学生組織	p.6—

生活編

—サークルについて	p.18—
—春日エリア	p.19—
—周辺マップ	p.20—
—用語集	p.22—

学習編

—履修の手引き	p.8—
—よく使うサービス	p.12—
—共通科目	p.13—
—創成の科目	p.14—
—知識の科目	p.15—
—つくばラーメン10選（おまけ）	p.17—

学類の略称・表記について

筑波大学では、各学類に様々な略称がつけられています。

情報メディア創成学類は「メ創」、「創成」、「mast（マスト）」など、知識情報・図書館学類は「知識」、「図情」、「klis（ケーリス）」などと略されます。

本誌内でもこれらの略称が用いられている箇所が多々あります。ご了承ください。

はじめに

新歓委員より

入学式までの僕はすごく不安でした。日常生活のことや大学の授業のこと、友達のことなど考えれば止まらない不安を抱えていました。しかし、去年の新歓委員がしてくださった zoom 雑談のおかげで日常生活や大学の授業の不安は解消し、キャンパスツアーのおかげで唯一無二の友を得ました。

今年も必ず、新入生の皆さんの不安を解消できるよう新歓委員一同全力で温かくサポートしますので、ぜひ心待ちにしてくださいと幸いです。

新歓委員 西野蓮

かすがらいふ編集委員より

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。友人はできるか、先生たちはどんな人なのか、環境に慣れることができるのか、学業についていけるのか…などなど、ただでさえ多くの不安がある中にこのコロナ禍です。皆さんは例年の新入生よりも未知への不安をさらに多く抱えて入学してきたのではないのでしょうか。

ですが安心してください。あなた方の先輩が、新入生を心から祝福し、全身全霊を持ってサポートすることをお約束します。この『かすがらいふ』も新入生向けの情報発信の一つとして学生主体で制作しています。新生活に役立つ内容や、知っていると便利な情報を多数掲載しています。ぜひ『かすがらいふ』にまず一通り目を通してみてください。この冊子が皆さんの新たな生活の一助となれば幸いです。

先輩一同、皆さんにお会いできる日を心待ちにしています。わからないことがあれば是非気軽に聞いてくださいね。

最後に皆さんの輝かしい大学生活を願って、挨拶とさせていただきます。

かすがらいふ編集委員

情報メディア創成学類議長より

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学受験もついに終わり、新生活を心待ちにしていることだと思います。

大学生活は恐ろしく自由です。あまりに自由すぎて何をしたらいいか分からなくなる人もいるでしょう。そんなときは、あなたがしたいと思っていること「Want-To-Do リスト」を書き出してみてください。あなたの「Want-To-Do リスト」の殆どは、この大学生活で可能だと思って頂いて大丈夫です！やりたいことが何も思いつかない人は、今のうちに思う存分、見聞を広めてみましょう！

皆さんは、新生活に向けてどのような準備をしていますか。入学後には履修登録や春日新歓、その他サークルの新歓など、様々なイベントが待っています。新しい生活に慣れる間もなくどんどん積みかけてくるので、このかすがらいふを読んで事前の準備は万全にしておきましょう。皆さんと大学で会える日を楽しみに待っています。

春日地区クラス代表者会議
情報メディア創成学類議長 岡本 想

知識情報・図書館学類議長より

入学おめでとうございます！ 春日地区クラス代表者会議の知識情報・図書館学類議長の川畑優人です。

早速ですが、皆さんは大学生活にどのようなことを期待していますか？ 質の高い学び、新しい人間関係、サークルなどを通じた体験、自由な一人暮らしなど様々かと思います。そしてそれと同時にそれらに対する不安もあると思います。僕も去年入学した際は実際そうでした。

ですが安心してください。それらは大抵叶うし、大抵どうにかできます。大事なのは物事に取り組む際に自分がどう立ち向かうかということです。楽しいことは楽しみ、しんどいことも楽しめれば皆さんの大学生活は終始明るいのではないのでしょうか。

大学生活楽あり苦あり、酸いも甘いも楽しめるように頑張ってください！

春日地区クラス代表者会議
知識情報・図書館学類議長 川畑 優人

年間の流れ

春 A 4月上旬～5月下旬

入学式

大学生活の始まり。大学会館で2回に分けて行われます。歌手のクリスハートさんの手がけた学生歌、「IMAGINE THE FUTURE.」は必聴。YouTubeでも聴くことができます。

<https://www.youtube.com/watch?v=LI89Pi63S7I>

入学式後に行われるオリエンテーションでは（昨今の情勢によって形態が変更となる可能性があります）学類の人と初めて集まるほか、履修に関する重要な書類の受け渡しや説明などがあります。

新歓本祭

入学式が終わるとすぐに各サークルからの勧誘が始まります。気になるサークルのことを一度に知るチャンス！（執筆時点では対面開催の予定です）

春 B 5月下旬～7月上旬

スポーツ・デー

年に2回（春学期、秋学期にそれぞれ1回ずつ）行われます。毎年様々な種目の大会が行われ、盛り上がっています。去年には e-sports 枠として、スマブラも競技になりました。

やどかり祭

1年生が主体となって運営するイベント。目玉はゆかたとパフォーマンスのミスコン「ゆかコン」。

春 C 7月上旬～8月上旬

夏休み

8月上旬～9月いっぱい

春Cが終わる8月上旬から9月末まで、2ヶ月近くあります。やりたいことがあれば思う存分取り組みましょう！

秋 A 10月上旬～11月上旬

スポーツ・デー

年に2回（春学期、秋学期にそれぞれ1回ずつ）行われます。毎年様々な種目の大会が行われ、盛り上がっています。去年には e-sports 枠として、スマブラも競技になりました。

秋 B 11月上旬～12月下旬

雙峰祭

11月に3日間にわたって行われる筑波大学の学園祭。様々な学類やサークルによる模擬店やステージ企画などによって学内がとても盛り上がるビッグイベントです。

冬休み 年末年始 1週間程度

12月の終わりから1月頭までの短い休暇。1週間ほど。実家に帰省したりバイトで稼いだりと人によって過ごし方は様々です。

秋 C 1月上旬～2月上旬

卒業式

3月下旬に行われる大学生活最後の晴れ舞台。袴を着る学生も多数見られ、会場が賑わいます。

春休み 2月上旬

冬休みが短い代わりに、春休みは2ヶ月弱と長めです。

新歓について

新歓、すなわち新入生歓迎会！

合格した皆さんを交えて飲みや歌えやの宴を行います！……と言いたいところですが感染症対策のため行えません。しかし！我々新進気鋭の新歓委員は新入生歓迎のためにキャンパスツアーと YouTube Live と Zoom 新歓を行います。

キャンパスツアー

キャンパスツアーでは、少人数の新入生グループにわかれ、随伴する新歓委員と共に南北4kmの広大なキャンパスを巡ります。「友達が出来ないかも」と不安な皆さんも友人を作れます！

YouTube Live

YouTube Live では、大学構内や宿舎、つくばに住むために知っておいたほうが良い話などをする予定です。新入生から出た質問に回答する機会も作るので心配なことがあれば何でも聞いてください！そして Zoom 新歓では、Zoom を用いて新入生同士の交流を行い、また皆さんの大学生活最初の関門、履修登録についてのお手伝いをします。幅広く他の相談も受け付けます。

新入生の皆さんが少しでも不安に感じていること、聞きたいことがあれば、ぜひこの企画を利用して解消してくださいね。新入生の皆さんと色々なお話ができることを心待ちにしています。

最後になりますが、新歓委員が運営している Twitter アカウント、LINE 公式アカウントがあります。新歓の詳しい情報を流しますので、絶対（×4）に登録してください！



学生組織

春日地区クラス代表者会議

筑波大学では、各学類で「クラス代表者会議」を開いています。クラス代表者会議は各クラスから選出されたクラス代表者たちで運営しています。筑波大学の学生と教職員が意思疎通できる機会を作るような役割を担っています。

春日地区クラス代表者会議、通称春日クラ代は、筑波キャンパス春日エリアに位置する情報メディア創成学類と知識情報・図書館学類が合同で運営しているものです。春日クラ代には主に3つの「局」が存在します。学生の生活などに直接関わる幅広い活動を行う「総務・生活局」、それぞれの学類の授業や教育環境に関することを扱う「創成教育局」「知識教育局」です。春日地区のクラ代はいずれかの局に所属し活動を行います。またクラス連絡会という教職員との会議を年2回開催します。ここでは学生から出た意見や教職員からの情報の共有、また学生生活や教育環境に関する問題提起や意見・要望を伝えます。

普段は週1でミーティングを行い、学生から出た質問・意見・要望について話したり、クラス連絡会に向けた準備等を行っています。また、新入生歓迎会を開催したり、学園祭などの行事ではピーフストログノフの出店を行ったりしています（ここ2年は新型コロナウイルスの影響で一度も開催されていないため、今後出店ができるかどうかはそのとき次第です……）。

常に忙しいというわけではないので、サークル等の活動との両立は心配ありません。ぜひ私たちと一緒に活動してみませんか？

春日地区クラス代表者会議 HP：

「春日地区クラス代表者会議」で検索

<https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~kasuga-campus/>

筑波大学春日地区クラス代表者会議 Twitter

@ksg_kuradai

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議、略して全代会です。名前が長いですね。全代会は筑波大学の学則で公的に認められた学生組織です。イメージとしては高校までの生徒会のようなものです。各学類・専門学群・総合学域群のクラス代表者会議から全代会に参加する「座長団」を3名選出します。全代会の主な仕事は、学校生活において問題が生じた際に、それについて議論し意見をまとめて、大学側に要望書を提出することです。扱う問題は教育、厚生、学内行事、大学運営についてなど、多岐にわたります。座長団は学類の代表として会議に参加して意見を出すなど、責任をもって活動に当たる必要があります。

また全代会には常任委員会があります。総務、学内行事、教育環境、生活環境、広報、調査の6委員会です。前述した座長団は、必ずどれかの委員会に所属して活動することになります。この委員会は座長団ではない学生も専門委員として参加することができます。

全代会の過去の活動や、各委員会がどのような活動を行っているのかは、全代会 HP や Twitter から見るすることができます。会議の議事録や全代会の広報誌「Campus」を見ると活動内容が分かりやすいのではないかと思います。ぜひチェックしてみてください！

全代会 HP：

「全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議」または「全代会」で検索→

<https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~zdk/home/about>

筑波大学全代会 Twitter

@public_zdk

学園祭実行委員会

筑波大学の学園祭「雙峰祭」の運営を行う委員会です。学実委と略されます。企画団体へのサポートや運営、広報、企業への協賛の依頼、会場設営など、さまざまな面から運営に関わっています。9つの局があり、サークルや部活では体験できないような仕事をする事ができるといいます。

詳しい説明はこちら↓

筑波大学学園祭実行委員会 HP →当委員会について <https://www.sohosai.com/committee/>

宿舎祭実行委員会

筑波大学には宿舎祭（通称やどかり祭 or やどさい）という、新入生主体のお祭りがあります。大学生活をより一層盛り上げるためのピックイベントです。

そんなやどかり祭を盛り上げ、運営するのが宿舎祭実行委員会です。

スポーツ・デー学生委員会

スポーツ・デー（スポデー）を運営する委員会です。春季と秋季の年2回行われるスポデーに向けて活動します。主な仕事は準備から当日の運営までと幅広いですが、活動は週1のミーティングが主なので、サークルなどとの両立が可能です。

詳しい説明はこちら↓

筑波大学スポーツ・デー HP →運営組織

<https://www.spoday.info/organization/>

履修の手引き

そもそも履修とは？

大袈裟に言うと単位は大学生の命です。大学が指定した単位を取得できないと卒業することができません。自分のしたい勉強、やりたいことをするために授業を履修し、単位を取得します。

しかし、履修の段階でミスをする、単位の取得が出来ない場合があります。そこでここでは履修登録について詳しく説明します。丁寧に正確な情報を掲載するよう心掛けてはおりますが、あくまでも必ず自分で調べるようにしてください。

履修登録に必要なもの

1. 履修要覧

これは最初のオリエンテーションで配られる冊子です。もしコロナ等の影響で現物を受け取れなかった場合でも大学HPからpdfをダウンロードできます！4年間付き合っていくものなので、なくすことの無いよう、気を付けましょう。

2. 開設授業科目一覧

こちらと同様に最初のオリエンテーションで配られる冊子です。もし紙の資料が配られなくても、(以下同文) 筑波大学にどんな授業があるのかが一覧になっています。(正直あまり使わないです。)

3. TWINS (ウェブ)

筑波大学が導入している、履修登録や成績照会などを行う Web 上のシステムのことです。TWINS の履修に関するところの使い方は個別に記述しますが、詳しいマニュアルは必ず確認してください。
<https://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/tool-manual-twins/>

TWINS のログインには統一認証システムを使います。統一認証システムについては以下のページを

ご確認ください。

<https://www.cc.tsukuba.ac.jp/wp/service/account/>

4.KdB (ウェブ)

履修する科目を選ぶときの強～い味方！ 自分の興味に関する科目は何か、科目番号は何かなどを調べることができる優れたものです。またその授業のシラバスを閲覧することも可能です。シラバスとは、その授業がどんな授業をするのか、成績評価はレポートなのか試験なのか、教員の名前、質問したいときどこに連絡すればいいかなどが書いてあるものです。冊子でも配られますが、訂正が入ることもあるので最新版が見られる KdB からシラバスを閲覧した方がいいと思います。KdB にはここからアクセスできます。

(筑波大学 HP →キャンパスライフ→在学生向けツール→教育課程編成支援システム (KdB))

https://kdb.tsukuba.ac.jp/campusweb/campussquare.do?flowExecutionKey=c01DB4EAF-AAFB-4FE8-DA71-69A5663E58BF_kBBC2D2CE-148E-7D9C-3C46-236662EC67A0

「KdB もどき」ってなに？
実は mast21 の学生が発案・開発を行い、その後も有志の学生によって改良を重ねられている KdB 代替システムが存在します。他家 KdB にはない機能が存在したりと非常に使いやすい、情報メディア創成学類公認のシステムです。こちら是非活用してみてください！
<https://make-it-tsukuba.github.io/alternative-tsukuba-kdb/>

履修計画をたてよう

イメージが湧きやすいように、筆者が1年生の時にどのように履修登録を行ったかを軸にして説明します(逆にわかりにくかったらごめんなさいね)。

以下に出てくるデータは2021年度のものなので、2022年度のものに置き換えて考えてみてください。

1. どんな科目をとる必要が？

まず履修要覧の「情報学群履修細則」というページを開いてみてください。その中に下に掲載したようなような表があります。まずこれを見てみましょう。

今回は2021年度情報メディア創成学類のものを用意しました。知識情報・図書館学類は主専攻によってこの表が違います。自分の専攻にあったものを見てみてください。ただ表の見方自体はどの学類も同じです、安心してください。

この表には自分がどんな科目をとらなければならないのかが載っています。詳しく見てみましょう。一番右端の「合計」の箇所にある数字が最終的に4年間でとらなければならない単位数です。

一番左にある「専門科目」。これはその名の通りかなり専門的なことを学ぶ科目です。klis も mast も標準履修年次は3・4年生です。基本的には1年

生が取る科目ではないので、ここでは一旦無視します。

左から2番目にある「専門基礎科目」。皆さんは1・2年生のうちに、主にこれを履修します。この中の「必修科目」は必ず履修しなければならない科目です。上の表の場合は24単位ありますね。

「選択科目」は学類(学群)が開設している授業で、履修するかしないか選択できる科目です。卒業までにこの枠の中から学類ごとに定められた単位数を取得しないと卒業できません。上の表の場合は、最低でも32単位とらなければならない、最大でも47単位までしか卒業要件としては認められないようです。この「選択科目」の中には資格の取得に必要な科目や、特定の科目を履修済みであることが要件になっている科目もあるので、注意しましょう。

次に左から3番目、四角で囲んである「共通科目」。これも「必修科目」と「選択科目」に分かれていますね。このうちの「必修科目」は全て1年生のうちに履修しなければなりません(ただし体育は2年生でも履修します)。それぞれの科目についての説明は、かすがらいふの「共通科目」のページをご覧ください。

「選択科目」は mast, klis とともに、第二外国語が必修では無いので、「学士基盤科目」を最低1単位以上取ればいいはず。こちらについても同じく「共通科目」のページをご覧ください。

(情報メディア創成学類) 卒業に必要な履修科目及び修得単位数

主専攻分野	専門科目										専門基礎科目										基礎科目										計			合計
	必修科目数	選択科目数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	単位数	必修科目数	選択科目数	単位数	単位数	単位数	単位数	必修科目数	選択科目数	単位数	単位数	単位数	必修科目数	選択科目数	単位数	必修科目数	選択科目数	単位数							
情報メディア創成	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	2	4	4	4	2	2	4	4	4	2	2	4	4	4	4	4	4	0	124				
単位合計	14	0	30~35	0	0	0	0	0	0	0	24	24	32~47	0	0	0	12	12	1~10	0	0	6~15	0	0	50	74	0	124						

2.CAP 制度って？

情報学群では、履修登録の上限を1年間に45単位と定めています。これは履修科目の予習・復習時間を十分に確保するためです。修得単位数ではなく、登録単位数であることに注意してください（つまり履修放棄したり単位を落としたりしても、この制限緩和には加味されないということです）。上限を超えて登録してしまうと、削除させられます。ただし所定の基準（年間取得単位40以上、かつ7割以上がAもしくはA+）を満たすと、次年度では上限が55単位になりますが、前年度の成績が基準になるので、1年生はどうあがいても履修登録上限は45単位までです。またこれにも「教職に関する科目」は含まれません。

3. 実際に授業を選んでみよう！

基本的に「専門基礎科目」と「共通科目」に関しては学類が示している時間割に沿って登録すれば、間違いありません。ただこの時間割には別に取る必要のないものも含まれています。そのため必ず時間割通りにしなければならないというわけではありません。ただ、後々のことを考えると基本的にはこの通りにおいた方が、「単位が足りない！」という事態を避けることができます。時間割は、冊子版のシラバス、または以下のリンクから見られます。ただ、リンク先の情報は古いかもしれません。その場合はご了承ください。（mast：<https://www.mast.tsukuba.ac.jp/lecture/timetable.html>、klis：<https://klis.tsukuba.ac.jp/assets/files/syllabus.pdf>）

それらを登録した上で空いているコマに、他の科目を登録しましょう。KdBでは曜日や時限を指定して検索することもできるので、空きコマの時間を指定した上で、自分の興味にあったキーワードを入れて検索するのが、手っ取り早いと思います。キーワードを入れて検索する場合には「概要・シラバス・備考含む」にチェックを入れることもお忘れなく。例えば、“春学期Aモジュールに開講されてい

るCGについての授業が知りたい”という場合は次の画像のように埋めます。

気になる授業を見つけたら、必ずシラバスを確認しましょう。標準履修年次と自分の学年が合っているか（合っていないでも基本的に履修は可能です。が、3・4年生の授業をとることはおすすめしません。また授業や先生によっては、標準履修年次が合っていないと履修を断られる場合もあります）、授業の評価方法は何か、そもそも今年きちんと開講されているか、どんな授業形態か、科目番号、事前登録（これについては次のセクションで説明します）が必要かどうかなどを確認しましょう。

4.TWINS に登録

どの授業をとるか決まりましたか？そうしたら後はTWINSに登録するだけです。ただシラバスに「事前登録科目」という表記がある場合とない場合で、登録期間・登録方法が異なります。期間についてはTWINSのトップページ（HOME）に記載があるはずです。そちらを参照してください。以下では登録方法について説明をします。

まず「事前登録科目」という表記が無い場合。①TWINSの「履修>履修登録・登録状況照会」を開きます。②自分が取りたい科目が開講されている期間と時間を選んで、科目番号を入力してください。登録を押せば履修登録完了です。

次に「事前登録科目」という表記がある場合。これは抽選がある科目のことです。自分の学類開講で抽選に外れることは滅多にありませんが、他学類開講や学士基盤科目などは往々にして外れます。①TWINSの「履修>事前登録>事前登録」を開きます。自分のとりたい科目が開講されている期間、曜日、時間などを選ぶと、同じ時間開講されている事前登録科目が一覧で出てきます。②その中で自分の取りたい科目の横に「1」と入力しましょう。③同時間開講で、他にも受けたい科目がある場合、希望順に横に数字を入力します。入力したら確認・登録を押して事前登録完了です。抽選に当たると先ほどの「履修>履修登録・登録状況照会」の欄に自動的に授業が追加されます。抽選終了後、定員に達しなかった科目は早い者勝ちで履修登録することができます。その場合の履修方法は「事前登録科目」という表記が無い場合と同じです。

ひとこと

4年次には、ゼミ（卒業研究）と就職活動で忙しくなります。そのためできるだけ4年次になる前に単位を取得しておきましょう。特に1年次では、必修の授業の履修漏れを避けつつ、なるべく多く45単位ぎりぎりまで取得するのを強くオススメします。

学期・モジュールごとに履修登録をすることは可能ですが、前述のCAP制によって「計算せずにあれもこれも登録していたら秋学期になって削除するように言われちゃった！」なんてことにならないよう、年度初に通年の履修登録を軽く済ませておきましょう。

Twin:te（ツインテ）

Twin:te（ツインテ）とは、筑波大生専用の時間割アプリです。このアプリを使うことで、自分が履修している授業の時間割を管理することができます。TWINSとつなげることが出来るため、履修している授業の登録も簡単に行えます。さらに、アプリを開くと担当教員の名前や授業教室を知ることができたり、シラバスを開くことができたりします。ぜひ活用してみてください！

よく使うサービス

ここでは授業などでよく使われるシステムやアプリを紹介します！ここで挙げた事例などについては筆者（2021年度入学）の体験に基づくもので、今年度は少し違う部分もあると思います。しっかり大学からのお知らせなどを確認してください。

TWINS

TWINS は筑波大学で学修していくうえで非常に大切なシステムで、履修登録などを行う際に必要です。実際に授業を受ける際に使用するのは後述する manaba ですが、そもそも TWINS で履修登録をしていなければ、授業に参加することができません。また、授業のなかには事前登録が必要となるものがありますが、その手続きもこちらで行います。

成績を確認するのに TWINS を使います。各学期の終了後に成績表は紙で送られますが、送り先が実家であったり、少し時間がかかったりするため TWINS から確認するほうが手軽です。

それから大切なのが掲示です。授業または学類からのお知らせ、奨学金に関する連絡、さまざまなイベントの参加者募集などの掲示板があります。とても大切なお知らせや有益な情報が掲示されることがあるので定期的にチェックするようにしましょう

履修を組むときの強い味方、KdB と KdB 代替システムについては「履修の手引き」をチェック！

manaba

manaba は筑波大学が導入している学習管理システムで、オンライン授業における資料配布や授業動画などの共有の場所として使用されています。「スレッド」や「個人指導」の機能を用いることで先生方に質問することもできます。

前述の通り基本的にそれぞれの授業についての連絡は manaba を通じて行われるため、チェックしていないと休講や締め切り変更等を把握できず大変なことになったりします。

また、先輩方が作った manaba の chrome 拡張機能も存在します。例を挙げると、「未提出課題」の欄の締め切りが近い課題に赤、黄、緑といった色をつけ、視覚的に分かりやすくしてくれるものなどで、使い方に慣れてきたら是非チェックしてみてください。

respon

一部の授業で出席を取るのに使用されるサービスです。指定された9桁の数字を入力することで出席確認を行うもので、出席だけを取る場合と、ちょっとしたアンケートも取る場合があります。授業によってはこの機能を使って質問を募集しているものもありました。respon は manaba からアクセスできますが、個人的にはスマホのアプリ版が便利だと思います。アプリ版では過去の提出ログを見ることができるため、出し忘れを減らすのに少しでも役立つと思います。

respon は未提出かどうかを一覧で見ることができません。番号が提示されたら早めに提出することをおすすめします。また授業によっていつどこで提示されるかも異なるため、しっかり確認をするようにしましょう。

Microsoft Stream

Stream は Microsoft が提供する動画共有サービスです。オンデマンド授業の多くはこのサービスを用いて共有されます。

Microsoft Teams

Teams とは Microsoft のツールです。双方向授業や教員に質問するスペースとして利用されます。先生方のなかにはオフィスアワーを設けて、その時間に Teams で質問を受け付ける方もいます。

また Teams は授業以外の課外活動でも使用されることがあります。たとえば全大会の連絡や会議等はこちらを使っています。サークルでも Teams を用いているところがあります。

共通科目

英語

English Presentation Skills

全学類必修科目です。様々な英語の文章を読んだり、ときには書いたりもします。その授業内容は先生に一任されていて、どの先生が割り当てられるか、どのような授業を受けることになるかは完全な運任せです。クラス分けテストは素直に全力で受けてください。

English Reading Skills

全学類必修科目です。英語を通してプレゼンテーション学び、プレゼンテーションを通して英語を学ぶ授業です。English Reading Skills 同様、授業内容は先生に一任されていて、どの先生が割り当てられるか、どのような授業を受けることになるかは完全な運任せです。

基礎体育

全学類必修科目です。履修科目は自分の好きな種目を希望し、抽選で決まります。バドミントンやバレーボールなどの定番種目から、ニュースポーツやジョグ&ウォークといった変わった科目もあります。是非先輩方に話を聞いて参考にしましょう。科目（種目）選択には、体育センター HP 上にある「科目選択システム」を用います。申請期間中にオンライン上で科目の希望が取られます。この申請を忘れると手続きが必要になりますので、体育センターからのお知らせを確認するようにしましょう。

データサイエンス

全学類必修科目です。データサイエンスの基礎的概念を理解し、基礎的なデータの分析の仕方やその重要性を学びます。Microsoft の Excel を用います。

学問への誘い

全学類必修科目です。ちなみにこれは「がくもんへのいざない」と読みます。ここでは他学類でどんなことを学んでいるのか、自分の学類でどんなことを学ぶのかを知り、自分の専門分野と他分野がどのように関連しているかを学ぶことができます。筑波大学では学際性を重視しているため、これからの学びに役立っていくと思います。

情報リテラシー

情報リテラシー（講義）

全学類必修科目です。情報の基本概念と社会におけるコンピュータやインターネットの位置づけを理解した上で、コンピュータの原理と構成、ソフトウェアの原理、インター年との仕組み、情報倫理や情報セキュリティ、知的財産権に関する知識を学びます。

情報リテラシー（演習）

全学類必修科目です。コンピュータを利用した基礎的な情報利用技術を身につける授業です。Microsoft の Word や PowerPoint の使い方を実践的に学びます。

総合科目（学士基盤科目）

総合科目または学士基盤科目と呼ばれる科目を1単位以上取る必要があります。1年のうちに取っておくのが主流です。どの科目も抽選が行われますが、なかなか厳しいため取り逃してしまうことも。早めの履修準備を心がけましょう。2つ以上履修しても問題ありません。自分の興味に従って履修してみてください。

第二外国語（初修外国語）は？

第二外国語は必修ではありませんが、履修することは可能です。余力がある人や学んでみたい外国語がある人は履修してみてください。

創成の科目

必修科目

ここではその全てを紹介するわけではありませんが、いくつかを取り上げて説明します！

また、体験談として紹介する授業の様子は担当される先生によって異なるため、実際の今年度の授業とは異なる可能性があります。

ファーストイヤーセミナー

週一で mast が全員で集まれる機会。基本的にオンライン授業だった昨年度は大変重宝されました。P/F での評価なので、それなりにしっかり受けてれば落とすことはないです。担当教授や同学類の人との交流の場として生かされるとベスト…かも？

情報数学 A

一年次の最初からとる授業。高校数学(主に集合、写像など)の基礎、応用を学んでいきます。高校数学がある程度できているのであれば、すんなりと理解できると思います。パズル的な要素もあったので筆者はかなり頭を使いました…

線形代数 A

行列の基本について学びます。行列の計算は慣れるまでがとても大変なのですが、演習量が多いので、しっかり定着させることができます。頑張りました。

微分積分 A

高校の数Ⅲ分野の発展を学びます。数Ⅲで習った極限や微積などの基本概念を学ぶので、ただ微積の計算ができればよいわけではないので難しいです。ですが基礎もしっかり教えてくださるので、学んでないからできない！ということはありません。のちの授業にも必要な知識ですので頑張って学びましょう。

プログラミング入門 A・B

Python を扱う授業です。解説がちゃんとあるので、コードを書くのが初めてでも楽しくプログラミングが学べます。わからないことは得意な友人に聞くのも、教授、TA に聞くのもよいでしょう。

私たちが取ったときは毎回、課題の最後にチャレンジ課題が出て、自分たちで一からコードを書きました。

選択科目

コンテンツ入門

毎回授業をしてくださる教授が変わるオムニバス形式の授業。特徴的なのはなんといっても後半の5回にわたって行われる講師をお招きしての授業。いろんな分野の最前線で活躍している方のお話が聞けるので大変人気の高い授業です。

Twitter でツイートをすることで出席確認するという、特殊な形式をとっています。

知識の科目

必修科目

ファーストイヤーセミナー

本授業はは全ての学生にとって必修ですが、その授業の内容は各学類等によって異なります。klis のフレセミは特徴的だと言われています。昨年度は、メールやレポートの書き方、付属図書館の使い方、卒業研究着手発表会への参加、PROG テスト、インターンシップ等の概要説明など、その内容は多岐にわたりました。昨年度はオンライン授業がほとんどのなか、週に1度の貴重な対面活動の機会でもありました。

成績評価は P/F です。出席や課題を忘れず、きちんと単位を取っていきましょう。

情報数学 A

情報学の基礎となる数学的概念について学ぶ授業です。特に集合、論理、写像、グラフといった概念の基礎を取り上げて講義が行われます。昨年度は先生がとても分かりやすく教えてくださったため、数学が苦手な人でも理解しやすかったという声が多くありました。必修科目でこれから先の学修で必要になってくる知識ですので、しっかり勉強しましょう。

知識情報概論

情報とはなにか、情報を記録すること、共有することとはどんなことかなどを学びます。知識情報・図書館学類でどんなことをしていくのかを理解しながら、知識共有に関連するさまざまな概念を知ることができる科目です。昨年度はオンデマンド形式でしたが、ライブ感のあるとても楽しく面白い授業でした。例年他学類の学生からも非常に人気の授業です。klis 生は必修でこの科目を取れるので、ぜひ楽しんでください。

アカデミックスキルズ (アカスキ)

アカスキは知識情報・図書館学類独自の科目です。ここでは情報検索やレポートの書き方、プレゼンテーションの方法など、大学生に必要なスキルを身につけることができます。フレセミでもレポートの書き方などを少しやりますが、アカスキではより詳しく丁寧に学びます。ここまでやってくださる授業は他にはないと思います。実際にレポートを作成したりプレゼンテーションを行うなど課題は少し重いですが、他の授業や将来に役立つスキルを身につけられる非常に有意義な授業です。集中して授業に参加しましょう。

プログラミング入門 A・B (プロ入)

Python というプログラミング言語を使用して、プログラミングについて一から学びます。プログラミング経験が無くても大丈夫です。説明や資料は初心者でも理解できる内容になっていたと思います。昨年度は Microsoft Teams を用いて、授業時間内に質問を行うことができ、非常に分かりやすく教えていただきました。秋 AB に開講されるプログラミング入門 A は基本的なことを学びますが、秋 C に開講されるプログラミング入門 B は A で学んだことを組み合わせ、若干応用的な内容になってきます。そのため難しいと感じる人が多くいたように思います。分からない部分は授業時間に積極的に質問しましょう。

サークルについて

筑波大学には200を超えるサークル、学生団体があります。そしてそれらは公認サークルと非公認サークルに分類されます。今までやってきたことを続けたり、新しいことを始めてみたり、いろんなサークルを覗いてみて自分にあったサークルを見つけてみましょう！

入学するとすぐに新歓が始まります。5月までの長い期間やっていますのでそこで気になったサークルに行ってみて、じっくり決めてみてください。期間中にはステージでパフォーマンスをしているサークルも多くあります。そこで気になったサークルがあったら体験に行ってみましょう。サークルを探していく中で、交友関係が生まれることもあったりするので積極的に参加してみてください！

新歓の情報やサークルの最新情報はtwitterなどのSNSでも入手できますので活用してみてください。

筑波大学の課外活動団体（サークル）には連合会があります。文化系サークル連合会、体育会、芸術系サークル連合会が存在し、これらの連合会はサークル活動を行うための活動を行う組織です。

以下にサークル・学生団体の区分とWebページへのリンクを掲載しますので、調べる際の参考にしてください！

課外活動団体

文化系サークル連合会

<https://bunsastaff.wixsite.com/mysite-3>

体育会

<https://www.stb.tsukuba.ac.jp/~taiikukai/>

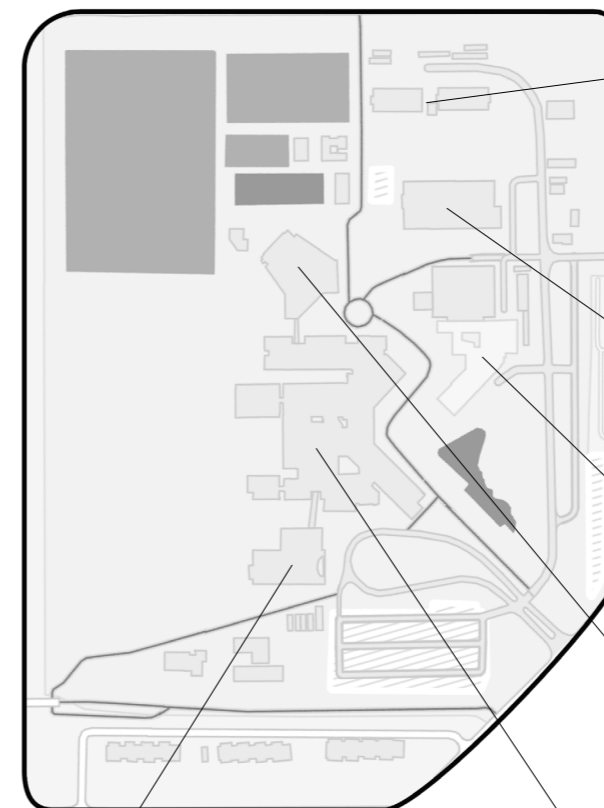
芸術系サークル連合会

<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~geisa/>

一般学生団体

<http://www.tsukuba.ac.jp/campuslife/pdf/gakuseih.pdf>

春日エリア



春日宿舎

春日エリアの私たちが宿舎を利用する場合に割り当てられる場所。本地図でいうと左から1号棟、2号棟となっており1号棟が女子棟、2号棟が男子棟となっている。

高細精医療イノベーション棟

綺麗な建物。たぶん利用する機会はない。

福利厚生棟

食堂などが入っている。

春日講堂

筆者はオリエンテーションの時に一度足を踏み入れただけ。
大人数が履修する授業の際に使用するらしい…。

図書館情報学図書館

口に出してみると気持ちのいい名前の図書館。
春日エリアの図書館だけあって、興味のある本がおいてあるかも…？

情報メディアユニオン

筆者はオリエンテーションの時に一度足を…

Map Data©2022 Google

周辺マップ

コストコホールセール つくば倉庫店

会員制。あるもの全てが巨大なので一人暮らしで利用するには少しハードルが高いかも…？
複数人で食べる際の買い出し先の選択肢としては最高

iiias つくば

自転車で行ける距離にある、大型複合施設。映画館に洋服屋さん、カフェや本屋さん、家電量販店などなんでも揃っている。

タイヨー 学園の森店

スーパーマーケット。やや遠い場所にあるが、それでも通い続けるような魅力がある。肉と魚がとても安い。

ハードオフ・オフハウス つくば研究学園店

いろんな中古品が売っている。楽しい。

MEGA ドン・キホーテ つくば店

買い出しの強い味方(?)

つくば温泉 喜楽里 別邸

温泉!! ゆったりとした時間が過ごせる

スーパーセンタートライアル つくば学園都市店

24時間営業、生活リズムの崩れた学生の強すぎる味方。食料品の価格も低い他、生活用品売り場がとても充実しているのも魅力的。現金決済しか出来ないことに注意。

中央図書館

入り口にはスターバックスが併設されている。

学術情報・メディアセンター

体芸図書館

体育専門学群・芸術専門学群の分野の本が多くおかれている、なんだか内装もおしゃれ。

カスミ 筑波大学店

通称平カス。大学構内にあるため、アクセスがよい。自転車の空気入れがあるのも良いところ。現金が使えないことに注意!

筑波大学春日エリア

私たちの主に利用する場所。詳しくは前ページへ

つくば駅

つくばの玄関口。併設された建物の中にはレストラン、ロピア(スーパー)、本屋など多くのものがそろっており、便利。

WonderGOO TSUTAYA つくば店

近場の本屋。文房具売り場やゲーム売り場なども広く取られている。

用語集

ア行

アパ民 [あぱみん]

アパートに住んでいる人の通称。

天久保 [あまくぼ]

地名。筑波大生が多く生活している。

一の矢 [いちのや]

地名。または一の矢宿舎の通称。通称「のや」。春日エリアの反対側に位置するため、春日の人にはあまり馴染みがない。

IMAGINE THE FUTURE. [いまじんざ]

ふゅーちゃー]

筑波大の掲げるスローガン。略してITF.

筑波大の略称替わりに使われたりする。ドットまで含めます。

追越 [おいこし]

追越宿舎の通称。klis や mast の学生が入居することもある。

カ行

学内循環バス [がくないじゅんかんば]

す]

ループ(ラ行参照)を走るバス。筑波大生は年間9500円(正規の定期運賃の約1/10の価格)で乗り放題。時間通りに来ないことが多いため注意が必要。

学費 [がくひ]

石の広場の近くにある噴水。有志によって湧くタイミングが研究されている。

春日 [かすが]

地名。または筑波大学筑波キャンパス春日エリアの通称。klis と mast を総称して「春日」と呼ぶこともある。

春日クラ代 [かすがくらだい]

春日エリアクラス代表者会議の略。klis と mast が合同で、春日エリア内の様々な問題を解決するために活動している。

春日食堂 [かすがしょくどう]

春日エリア内にある食堂。授業のオンライン化に伴って利用者が減っているそうなので、積極的に利用しよう。

KdB もどき [けーでいーびーもどき]

mast21 の一人が入学してまもない頃に完成させたkdbの代替サイト。全筑波大がざわめいた。今でも有志によってバージョンアップされている。

サ行

宿舎民 [しゅくしゃみん]

宿舎に住む人の通称。

スポデー [すぽでー]

スポーツ・デーの略。年2回行われる学内行事で、毎年様々なスポーツ種目を通じて、学校全体で盛り上がる。

絶起 [ぜっき]

「絶望の起床」の略。大事な予定があるのに寝坊して遅刻が確定した時などに用いられる。気をつけよう。

ゼミ [ぜみ]

卒業研究のために行われる、少人数での活動。研究室に入り卒業研究を行わなければ、卒業することはできない。

全学計算機 [ぜんがくけいさんき]

筑波大の学生が使うパソコンのこと。ハイスペックでさまざまなソフトも入っているため、授業以外で活用することもできる。

全代会 [ぜんだいかい]

全学学類・専門学群・総合学域群代表者会議の略。通称Z(ぜっと)。高校の生徒会のレベルアップバージョンのようなもの。大学全体の学生のために動いている組織。

雙峰祭 [そうほうさい]

11月頃に行われる筑波大学の学園祭。実行委員会は学実委とも呼ばれる。毎年広大なキャンパスを生かした大規模な学園祭となる。

タ行

宅通(多苦痛) [たくつう]

自宅から大学へ通っている人の通称。その過酷さから「多苦痛」とも表記される。

脱獄 [だつごく]

宿舎から脱出する際に使う。春日宿舎はいいところなのであまり聞かない。たぶん。

Teams [ちーむず]

Twitter [ついったー]

筑波大生のお供。情報はだいたいここで手に入れる。夏頃から人が減ってらしい…。

つくばっく・つくばいばい

つくばに帰ってきたことやつくばを出ることを指す際に用いることがある。

TX [ていーえっくす]

つくばエクスプレスの略。高い。都心へ赴く時にお世話になる。

図情図書館 [とじょうとしょかん]

図書館情報学図書館の通称。筑波キャンパス内には他にも、中央図書館、医学図書館、体育・芸術図書館が存在する。

ハ行

博士号 [はくしごう]

「ある筑波大生」がルールの穴をかいくぐって松見池に設置したスワンボート。大雨の日に漂流していたことがある。

平砂 [ひらすな]

平砂宿舎の通称。

ペデ

ペDESTリアンデッキの略。信号はないけど起伏が多い。

ほけかん

保健管理センターの略。学生は基本的に一般的な病院よりもかなり安く診療してもらえる。

本学 [ほんがく]

筑波大の本学。春日とは一区分離れている。春日エリアこそが本学であると主張する勢力もいる。

ヤ行

やどかり祭 [やどかりさい]

宿舎祭ともいう。主に1年生を中心に出店したり神輿を作ったりする。「ゆかコン」という浴衣とパフォーマンスのミスコンも開催される。

ラ行

ラーニングコモンズ

通称 LC。図情図書館内に存在する。チューターと呼ばれる学生が、課題などの相談にのってくれる。パソコンも置いてある。

ラーメン

美味しい。つくばにはたくさんのラーメン屋があります。

ラウンジ

春日食堂横にある自由に使えるスペース。机や椅子があり、パンやカップラーメン等の自動販売機がある。

ループ

筑波大を一周する道路。バスが循環している。

Respon [れすぽん]

出席確認するやつ。オンラインの授業で使われたりする。見落とすと欠席扱いになってしまうので十分注意。

発行

情報メディア創成学類長
知識情報・図書館学類長

作成

春日地区クラス代表者会議
かすがらいふ編集委員

ご協力

情報メディア創成学類の教員の皆様
知識情報・図書館学類の教員の皆様
図書館情報エリア支援室の職員の皆様
春日地区クラス代表者会議
過去のかすがらいふ編集委員の皆様
特に、「履修の手引き」をはじめとする一部文章や
構成などをお借りした昨年の編集委員の皆様
その他、ご協力いただいた全ての皆様

印刷

朝日印刷株式会社様